

学ぶために

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン
「今日のフォーカスチェンジ」第2273号
(2010年1月18日発行)より

「○○がこうなってくれたら」「△△さえこう
だったら」…私たちは、しばしば、そんな
ふうに思います。○○、△△は、親だつたり、
パートナーだつたりします。
つまり、だれかが、自分の思うように変わっ
てくれたらいいなあと、思うわけです。

ところが、そんなひとに、「じゃあ、あなた
は、だれかに変えられたいと思っている
の？」と聴くと、ほぼ100%の確率で、同じ
返事がかえってきます。「やだ!!」(爆)
まあ、これが、ひとの気持ちというものです。
あなたが変わってほしいと思う相手も、ほ
ぼ100%の確率で、同じことを思っている
はずですよ(笑)。だから、こういう期待は、す
るだけ不毛ですから、とっとと、視点を変え
たほうがいいのです。

最近の私の気づきのひとつに、私たちは、
生まれてくるとき、学ぶべきことを決めてく
る、というのがあります。学ぶべき…とい
うくらいですから、当然、それは、現在、不
足した状態になっています。でない、と、学
ぶ意味がありませんからね。(笑)

さらに、つけ加えると、学ぶべき…というか
らには、それを学ぶ準備ができた、というこ
ともあります。赤ちゃんが、這い這いの
状態を経ずに、いきなり、全速力で走り出

すことがないように(リアルに考えると、ちょ
っとシュール)(笑)、必要なタイミングでし
か、それはやってこないのです。

だから、私はたびたび、「今日のメッセー
ジにぴんときたひとは…」と書いているの
も、ぴんとこないひとは、いまはそれが必
要ではない、もしくはタイミングではないと
いうことなのですから、全部が全部、受け
止めなくていいということです。

こんなことを書くと、こう反論するひとがい
ます。「でも、それが本当に、必要ではな
いことなのか、タイミングではないことなの
か、判断できない」。はい。これにたいす
るこたえもちゃんとあります♪ 私のここ
と酒の師匠、故・あまちゆうとさんの、不滅
の名言です。「どっちでもいい」(爆)

ついでに、これに、かめわざ最大の名言も
つけ加えておきましょう。(あ、食事中のか
たは、あとで読んでくださいね。
「どんなに愛していても、そのひとのうんこ
を、代わりにすることはできない」(爆)(爆)

この掛け算で、どんなこたえが出てくるかと
いうと…。「人生は、何をどう選んでも、ど
っちでもいい。ただし、自分の人生は、ひと
に選んでもらうことはできない。あなたが、
他人の人生を生きることもできない」

ねっ。簡単明瞭、すっきりさわやか♪ で
しょ? どっちでもよくて、かつ、自分の
人生をどうするかは、自分で決められる。
こんなラッキーなことはないと思うのですが、

必ず反論するひとがいるんです。「いや、
自分は親にしばられて、自由なんかない」
気持ちはわかります。でも、ということは…。
そのひとは、今回、自分の人生を自分のち
からで切り拓く体験をしにきたということか
もしれませんよね。だから、あえて、そんな
過酷な環境に、自分を置いたのかもしれない
せん。

最初に書いたように、学ぶということは、そ
れを自分のものにしたいという思いがとど
のつたことです。準備ができたということ
です。だからこそ、わざわざ、それが「ない」
環境、状態を選んでくるのです。記憶はな
いかもしれませんが(笑)、他人の人生を
決定することはできませんから、自分の人
生は、やはり自分が選んでいるのです。

どうぞ、思い出してください。あなたが、自
分の学びのために、置いてきたものは、何
ですか? あなたに欠けていると感じるも
ののなかに、そのヒントは隠されているは
ずです。そして、おわかりでしょう。それが
困難に思えば思えるほど、あなたは、高い
ハードルを自分に課することができるくらい、
ちからがあるということなんです。そんなあ
なただからこそ、わざわざ、その環境、条
件を選んできたということなんです。

しかも、最初からちからがあるとわかっ
ていると、楽々クリアできちゃいますから、あ
えて、自分にはちからがないと思ひこませ
る仕掛けまでしてきているのです。それ
って、すごーくチャレンジャーな生きかただ
と思いませんか? チャレンジャーな生き

かたを選べるほど、あなたは超パワフルで
あり、無限の可能性を秘めているのです。

そろそろ、そのことを、思い出してもいい時
期ですよ。あちら(どちらだ?)とちがって、
こちらには、時間という概念が存在してい
るのです。うっかりのんびりしていると、気
がついたら、また「あちら」にもどってしまっ
ていますから♪

もちろん、このメッセージを受け入れるも受
け入れないも、「どっちでもいい」のです。
ついでにいえば、「保留にする」でもいい
のです。大切なのは、あなたが、それを決
めるということです。そしてね。どうぞ、よか
ったらこれだけは受け取ってくださいね。
あなたが、このメッセージを受け入れようが
受け入れまいが、保留にしようが、私は、
あなたを応援しています。あなたが、あな
たとして生きていくことを、ころから、応援
しています。

たぶん、だれかを応援するということを、私
は、今回、学びにきたのでしょうか。そして、
私の学びは、まだまだ完了していないよう
です。何しろ、2200回以上メッセージを発
信しても、まだつづけることになっているよ
うですからね。(笑)

●日刊メールマガジン「今日のフォーカス
チェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、
2003年11月1日創刊。2009年4月、
2000号達成。3秒で読める携帯版もあり。
無料講読は「かめわざ快心塾」から♪

<http://kamewaza.com/>